

令和6年度 せせらぎスクール推進事業報告書



※写真は石川町立石川小学校のみなさん

福島県環境創造センター

目次

第1	せせらぎスクール推進事業とは	1
1	はじめに	1
2	せせらぎスクールとSDGs	2
(1)	SDGsとは	2
(2)	せせらぎスクールとSDGsの関連	2
第2	令和6年度せせらぎスクール推進事業の実績	3
1	せせらぎスクール	3
(1)	募集案内及び教材の提供	3
(2)	教材提供団体	4
(3)	調査結果報告団体	5
(4)	調査結果報告団体の紹介	6
2	せせらぎスクール指導者養成講座	9
(1)	初級編(郡山会場)	10
(2)	中級編(福島会場)	12
(3)	実践編(須賀川会場)	13
第3	おわりに	15

第1 せせらぎスクール推進事業とは

1 はじめに

昭和59年度から環境省と国土交通省による「全国水生生物調査」が開始され、福島県では水生生物調査（「せせらぎスクール」）を行う学校や団体等に対し、水生生物調査の実施を呼び掛けています。平成9年度から平成22年度は、数多くの学校や団体等が参加して「せせらぎスクール」の延べ参加人数は14年間連続全国1位（ピーク時は9,084名[平成13年度]）でした。

しかし、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する原子力災害の影響を受け、屋外活動の制限、川辺の活動への不安等から、「せせらぎスクール」に参加する学校や団体等が大きく減少しました。

平成23年度から平成25年度まで参加募集を休止していた「せせらぎスクール」ですが、平成26年度から再開し、令和6年度の延べ参加者数は2,000名を超え、「ふるさとの川・荒川づくり協議会」、「西郷くらしの会」、「夏井川流域の会」、「遊水会」、「赤羽子供育成会」、「湯川を美しくする会」をはじめ震災前から地域で水生生物調査を実施している団体を中心に、県内の学校や団体等に「せせらぎスクール」の活動が広がりつつあります。

福島県環境創造センター(以下「センター」という。)は、身近な河川等での水生生物による水質調査(以下「水生生物調査」という。)を通じて、県民の水環境保全に対する意識の高揚を図ることを目的に、せせらぎスクール推進事業を実施しています。

小・中学校、高等学校、市民団体等(以下「学校や団体等」という。)に参加を呼び掛け、申込みのあった学校や団体等に対し水生生物調査に必要な教材を提供するとともに、「せせらぎスクール指導者養成講座」を開催して、水生生物調査の指導者を目指す方の育成を行っています。

また、せせらぎスクール推進事業をより多くの方々に周知するため、「せせらぎスクール推進事業報告書」及び「せせらぎスクール～うつくしま川の体験マップ～」の作成・配布を行い、せせらぎスクール推進事業の普及・啓発を図っています。

【せせらぎスクール(全国水生生物調査)の実績[平成9年度～令和6年度]】







※平成25年度は参加募集を休止していましたが、自主的に水生生物調査をした団体で全国水生生物調査への参加を希望する団体(8団体398名)の調査結果を環境省に報告しました。

2 せせらぎスクールとSDGs

(1) SDGsとは


- SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、2015年の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
- SDGsは社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17の目標(ゴール)と169のターゲットで構成されており、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標とされています。
(出典：福島県環境教育等行動計画【第2次】)

(2) せせらぎスクールとSDGsの関連

- 「せせらぎスクール」は水環境保全意識を高め、身近な水環境(河川)を大切にする活動です。「せせらぎスクール」は主に内陸の淡水域(河川)で活動するので、SDGs17のゴールのうち、主にゴール15(陸の豊かさを守ろう)に該当します。
- 「せせらぎスクール」を通して水環境保全意識を高め、自らの生活排水等を改善し、水質保全の取組を実践していくことは、SDGsのゴール6(安全な水とトイレを世界中に)にも該当します。
また、身近な水環境(河川)を大切にするのは、やがて海にも影響を与えるのでSDGsのゴール14(海の豊かさを守ろう)にも繋がります。
- 私たちの水環境を大切にする活動を、1人また1人と周りの人に伝播していくことによって、今あるふくしまの美しい水環境を後世に守り繋いでいくことができます。周りの人と協力してSDGsを意識した活動を広げていくことは、ゴール17(パートナーシップで達成しよう)にも繋がっていきます。
- 自らがSDGsのゴール15・6・14・17を意識した活動(水生生物調査や水環境保全の取組)を実践して、周りの人に気づきを与え、水環境保全の意識や活動が伝播していくよう、できることから積み重ねていきましょう。

☆本県が実施するせせらぎスクールとSDGsとの
関係性に関する動画をご視聴ください！



動画はこちらから 

第2 令和6年度せせらぎスクール推進事業の実績

1 せせらぎスクール

(1) 募集案内及び教材の提供

県内の「各市町村、各市町村教育委員会、国立小・中学校、各私立小・中学校、各県立高等学校、各私立高等学校、水生生物調査実施団体、各公民館、各自然の家、こどもエコクラブ、県教育庁、各県教育事務所、県教育センター」などに「せせらぎスクール」の募集案内を行い参加を呼び掛けました。

申込みがあった学校や団体等に、水生生物調査に必要な教材を提供するとともに、調査結果(調査場所及び参加人数、採集した水生生物、調査場所の水質階級等)を報告していただきました。

ア 募集期間 令和6年4月22日(月)～令和6年9月30日(月)

イ 調査の実施期間 令和6年4月22日(月)～令和6年10月18日(金)

ウ 調査結果の報告 令和6年10月25日(金)

エ 提供教材

- (ア) 下敷き：参加者全員に1枚ずつ
- (イ) 冊子：「川の生き物を調べよう」各団体1冊
- (ウ) COD パックテスト：参加者1人に対し1本×調査地点数
- (エ) パックテスト比色表：COD パックテスト20本に対し比色表1枚
- (オ) その他説明書等



せせらぎスクールに申込みをした学校や団体等に提供した教材

(2) 教材提供団体

令和6年度は延べ43団体(2,150名)にせせらぎスクールの教材を提供しました。

No.	団体名	人数
1	川俣町立川俣小学校	62
2	いわき市立三和公民館	29
3	NPO法人いわきの森に親しむ会	10
4	公益財団法人 ふくしま科学振興協会 ムシテックワールド	55
5	田村市立船引小学校 第4学年	127
6	ふたば未来学園中学校 第2学年(NPO法人 浅見川ゆめ会議)	30
7	夏井川流域の会	25
8	天栄村立広戸小学校 第4学年	13
9	須賀川市立長沼東小学校 第4学年(遊水会)	30
10	須賀川市立長沼小学校 第5学年(遊水会)	30
11	須賀川市立須賀川第一小学校 第5学年(遊水会)	90
12	須賀川市立阿武隈小学校 第5学年(遊水会)	80
13	須賀川市立長沼中学校 第1学年(遊水会)	40
14	水辺の会わたり	86
15	白河市立関辺小学校	20
16	石川町立石川小学校 第4学年	79
17	小川環境委員会	20
18	田母神環境委員会	25
19	会津若松市環境生活課	20
20	西郷村立川谷中学校	28
21	広野町立広野小学校(NPO法人浅見川ゆめ会議)	32
22	福島市立三河台小学校 第4学年	75
23	追原清流かじかの里	23
24	ステップアップ講座	35
25	一般社団法人 里山創生やぶき	30
26	平田村立小平小学校 第4学年	10
27	みどりトラスト長沼	10
28	志茂グリーンフィールド	40
29	豊町緑守り隊	10
30	もんも 児童発達支援・放課後等デイサービス	30
31	もとみやプラット	36
32	もとみやプラット	20
33	いわき市立磐崎小学校	103
34	塙町立塙小学校 第4学年	54
35	パルシステム福島環境委員会(夏井川流域住民による川づくり連絡会)	30
36	はげっ子倶楽部水質調査班	10
37	福島市立平石小学校	21
38	郡山市立御代田小学校 第3学年	15
39	会津若松市市民部環境生活課(門田小学校)	65
40	福島市役所建設部河川課	250
41	福島大学附属中学校	146
42	柳津町立西山小学校 第5・6学年	6
43	福島市役所建設部河川課	200
	合計	2,150

(3) 調査結果報告団体

「せせらぎスクール調査結果集計用紙」により、延べ41団体（2,049名）から調査結果を報告いただきました。

No.	団体名	人数
1	川俣町立川俣小学校	62
2	いわき市立三和小学校 第6学年（いわき市立三和公民館）	25
3	公益財団法人ふくしま科学振興協会 ムシテックワールド	77
4	福島県立ふたば未来学園高等学校（NPO法人浅見川ゆめ会議）	20
5	夏井川流域の会	24
6	NPO法人 いわきの森に親しむ会	12
7	追原清流カジカの里づくり	26
8	会津若松市立湊学園	18
9	広野町立広野小学校（NPO法人浅見川ゆめ会議）	30
10	石川町立石川小学校	81
11	パルシステム福島環境委員会（夏井川流域ネットワーク）	31
12	里山創生やぶさ	70
13	西郷くらしの会	34
14	ステップアップ講座	24
15	天栄村立広戸小学校	15
16	福島市役所建設部河川課	357
17	柳津町立西山小学校 第5・6学年	7
18	郡山市立御代田小学校 第3学年	14
19	田村市立船引小学校	125
20	塙町立塙小学校	50
21	会津若松市立門田小学校	68
22	水辺の会わたり	24
23	西郷村立川谷中学校 第1学年	13
24	福島市立平石小学校	21
25	もとみやプラット	65
26	郡山市立三和小学校	14
27	須賀川市立長沼東小学校 第4学年（遊水会）	24
28	須賀川市立長沼小学校 第5学年（遊水会）	26
29	須賀川市立第一小学校 第5学年（遊水会）	102
30	須賀川市立阿武隈小学校 第5学年（遊水会）	180
31	豊町緑守り隊（遊水会）	12
32	志茂グリーンフィールド（志茂子供育成会、遊水会）	46
33	みどりトラスト長沼（遊水会）	18
34	須賀川市立長沼中学校 第1学年（遊水会）	40
35	平田村立小平小学校 第4学年	10
36	いわき市立磐崎小学校 第5学年	107
37	白河市立関辺小学校	20
38	福島市立三河台小学校	81
39	遊水会	20
40	もんも 児童発達支援・放課後等デイサービス	15
41	せせらぎスクール指導者養成講座（福島県環境創造センター）	41
	合計	2,049

※調査地点毎に人数をカウントしているため、延べ人数として集計しています。

※教材提供をしていない学校や団体等からの報告も含まれます。

※国土交通省における全国水生生物調査の人数は含まれておりません。

(4) 調査結果報告団体の紹介

※活動の写真や参加者の感想を提供いただいた調査結果報告団体のうち、一部を紹介します。

● 広野町立広野小学校

実施年月日：令和6年7月10日（水）

実施場所：双葉郡広野町（浅見川〔水質階級Ⅰ〕）

人数：30名



水生生物を採集している様子

- 水質階級Ⅰ：カワゲラ類、サワガニ、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ
- 水質階級Ⅱ：カワニナ類、コオニヤンマ
- ◎その他の生物（水生生物、貝、エビ・カニ類）
 - ：ニンギョウトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、サナエトンボヤゴ
 - ヒル、スジエビ、ヌカエビ
- ◎魚類：ウグイ(稚魚)、アユ、カジカ

● 須賀川市立須賀川第一小学校

実施年月日：令和6年6月21日（金）

実施場所：ふれあいロード右岸（釈迦堂川〔水質階級Ⅱ〕）

人数：102名



ヒラタドロムシ類



水生生物を採集している様子

- 水質階級Ⅰ：カワゲラ類
- 水質階級Ⅱ：コオニヤンマ、コガタシマトビケラ類、ヒラタドロムシ類
- 水質階級Ⅲ：シマイシビル、ミズカマキリ
- ◎その他の生物(水生生物、貝、エビ・カニ類)
 - ：ヒゲナガカワトビケラ属、タニガワカゲロウ属、モンカゲロウ
 - ハグロトンボ(ヤゴ)、ミミズ類、ヌカエビ、台湾シジミ
 - アメリカツノウズムシ
- ◎魚類：フクドジョウ、カワムツ

● **須賀川市立長沼中学校**

実施年月日：令和6年9月11日（水）

実施場所：せせらぎ公園（江花川〔水質階級Ⅱ〕）

人数：40名



水生生物を採集している様子

- 水質階級Ⅰ：カワゲラ類、サワガニ、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類
- 水質階級Ⅱ：カワニナ類、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ類
- 水質階級Ⅲ：シマイビル
- 水質階級Ⅳ：アメリカザリガニ
- ◎その他の生物（水生生物、貝、エビ・カニ類）
 - ：ヒゲナガカワトビケラ属、ニンギョウトビケラ属
 - コカクツツトビケラ属、トビイロトビケラ、モンカゲウ
 - シロタニガワカゲロウ、ガガンボ科、サナエトンボ科(ヤゴ)
 - ハグロトンボ(ヤゴ)、タイコウチ、ヌカエビ
 - 台湾シジミ、ヒル類
- ◎魚類：フクドジョウ、ドジョウ、ゴリ属、カワムツ

2 せせらぎスクール指導者養成講座

水生生物調査の指導者を養成し、各地におけるせせらぎスクールの活動の促進や学習内容の質を高めることで、県民の水環境保全意識の高揚を目的に、センターではせせらぎスクール指導者養成講座を開催しています。

令和6年度は、初心者向けの講座（初・中級編）と実践的に水生生物調査の指導を行う講座（実践編）を開催しました。

【講座の概要】

名称	内容	対象（※）
初級編	講義や河川実習をとおして、以下の内容について学習します。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査にあたっての準備 ・水生生物調査の進め方 ・指標生物の説明 ・河川での水生生物採集 ・採集した水生生物の指標判定 ・水質評価の方法及び水生生物調査のまとめ 	次のいずれかに該当する方 ①水生生物調査未経験の初心者の方。（水生生物調査の指導に興味のある方。） ②新たに水生生物調査等の指導者的役割を担うこととなった方。（過去に受講経験のある方を除く。）
中級編	屋内実習をとおして、以下の内容について学習します。 <ul style="list-style-type: none"> ・初級編の内容に加えて、顕微鏡による水生生物の観察と同定実習及び解説 	次のいずれかに該当する方 ①初心者の方 ②水生生物調査に参加した経験がある方で、水生生物の同定についての知識を深めたいと希望する方。
実践編	水生生物調査の実施方法等について、親子を対象に実践的な指導を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の安全確保 ・水生生物調査の進め方 ・河川での水生生物採集 ・採集した水生生物の指標判定と水質評価 ・実施方法や指導方法等についての意見交換 	次のいずれかに該当する方 ①水環境教育指導者養成講座または、せせらぎスクール指導者養成講座の初・中級編経験者。 ②水生生物調査の指導者をされている方（又は過去にされていた方）で指導者としての知識・技術・ポイントを再確認したいと希望する方。

※教職員、公民館の指導員、こどもエコクラブサポーター、環境保全活動団体関係者、自治体関係者等を対象に参加を呼びかけています。

(1) 初級編 (郡山会場)

水生生物を用いた水質調査にあたっての準備や水生生物調査の進め方、指標生物の解説、河川での水生生物の採集、水質評価の方法などを学びました。

日 時：令和6年5月26日(日) 10:00~15:00

場 所：郡山市河内ふれあいセンター (実習：逢瀬川)

講 師：福島大学共生システム理工学類 ^{つつみ} 塘 ^{ただあき} 忠頭 教授

人 数：[受講者] 8名 [講 師] 1名

※受講対象：水生生物調査未経験(初心者)で水生生物に興味のある方、新たに指導者を目指す方

[協 力] 1名 [事務局] 2名

※水生生物調査の指導経験が豊富な方に「協力」という立場で、受講生のサポートをしていただきました。



↑コオニヤンマ

講座の内容

1 河川下見 10:20~10:40



2 講義「水生生物調査の方法、指標生物の説明」 10:55~11:50



3 水生生物の採集と観察 13:00～14:20



4 講義「水質評価の方法・水生生物調査のまとめ」 14:45～15:10

5 参加者の感想 ※アンケート集計結果から抜粋

- ・ 今後せせらぎスクールを実施しているところに参加したい。
- ・ 水生生物の採取を試みようと思う。
- ・ 多くの水生生物を見て知識を深めたい。

(2) 中級編 (福島会場)

基礎的な水質調査の知識があり、より専門的な知識の習得をめざしている初級編受講者向けに、水生生物を顕微鏡で観察し、同定実習や水質評価の方法等を解説しました。

日 時：令和6年6月23日(日) 10:00～15:00

場 所：福島大学

講 師：福島大学共生システム理工学類 塘^{つづみ} 忠^{ただあき} 教授

人 数：[受講者]10名 [講 師] 1名

※受講対象：水生生物調査未経験（初心者）で水生生物に興味のある方、新たに指導者を目指す方

[協 力] 1名 [事務局] 2名

※水生生物調査の指導経験が豊富な方に「協力」という立場で、受講生のサポートをしていただきました

講座の内容

1 講義「水生生物調査の方法、指標生物の説明」 10:05～10:25



2 顕微鏡観察 10:25～12:00、13:00～14:55



3 参加者の感想 ※アンケート集計結果から抜粋

- ・ 指標生物を判断できるようになりたい。
- ・ 近くの川や溪流の調査をしてみたい。
- ・ 地域の子供たちに、川の生き物の多様性を伝えていきたい。

(3) 実践編 (須賀川会場)

せせらぎスクールの指導を行う受講生が、水生生物調査の実施方法等について一般親子に説明する実践的な指導の場を提供し、指導者としての資質向上を図ることを目的にせせらぎスクール指導者養成講座実践編を開催しました。

日 時：令和6年7月28日(日) 9:30～14:30

受講生…9:30～14:30

親 子…10:15～12:50

場 所：須賀川市長沼保健センター (実習：江花川)

講 師：福島大学共生システム理工学類 ^{つつみ} 塘 ^{ただあき} 忠頭 教授

人 数：[受講生] 5名 [親子] 16名 [講師] 1名

[協力] 3名 [事務局] 4名

※水生生物調査の指導経験が豊富な方に「協力」という立場で、受講生のサポートをしていただきました。

講座内容

- 1 受講生 現地(江花川) 確認 9:30～10:15
- 2 開講式 10:30～11:00
- 3 現地(江花川) へ移動 10:40～11:00
- 4 水生生物調査と水質評価・判定 11:00～12:30



水生生物調査の様子



水生生物の同定を指導する受講生

- 5 閉講式 12:40～12:50

※親子は閉講式後に解散。

6 意見交換会 13:50～14:30

参加者：講師、受講生、事務局等



意見交換会の様子

《意見交換会における受講生の声》

- ・生物の解説については、知識が必要であると感じた。
- ・時期によって水生生物に変化が見られることに触れ、子供たちに教えることができた。
- ・学んだことを生かして、職場等において環境について考えたい。
- ・水環境保全活動を実施したい。
- ・学校の授業で子供たちに伝えたい。
- ・講習会などに参加して、経験を積みたい。

7 アンケート集計結果（一部抜粋）

[親子の感想]

- ・水生生物の採取方法や採取後の同定方法など、実際に生物を見ながら学ぶことができよかった。
- ・川や自然を汚さないようにしたい。
- ・川の状態によって生き物の種類が変わってくるため、きれいな状態を保てるように普段からできることを考えたい。

[受講生の感想]

- ・想定されるあらゆるリスクについてもっと勉強したい。
- ・水生生物や水環境に関する知識が足りず、同定が難しかった。このような講義などに参加し、知識の習得をしたい。
- ・生き物が好きではない子どもに親しんでもらうためには、どのような方法が有効か考えてみたい。

第3 おわりに

環境創造センターでは、身近な水辺環境から、水環境保全への関心を一層高めていただくための学習機会をつくるため「水生生物による水質調査」の参加団体を「せせらぎスクール」として募集し、教材を提供しています。

また、環境創造センターホームページには水生生物ハンドブックや水生生物調査ガイドブックを掲載しておりますので、ぜひ御活用ください。



水生生物調査の指導に必要な準備やロケーションをとりまとめています。



指導者が水生生物について、学習・指導等を行う際に必要な水生生物ハンドブックです。

令和6年度せせらぎスクール推進事業報告書 及びせせらぎスクールマップ

◆発行日 令和7年3月

◆発行 福島県環境創造センター

住所：福島県田村郡三春町深作10番2号

電話：0247-61-6129

FAX：0247-61-6119

メール：kansou-kikaku@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ：<https://www.fukushima-kankyosozo.jp/seseragi-school.html>



環境創造センターHP

